

検 定 意 見 書

受理番号 107-139		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気機器	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	12	11 - 12	コイルを外径を1[m]	生徒にとって理解し難い表現である。 (図5の「1」に照らして「外径」は理解し難い。)	3-(3)	
2	13	図7(a)	(全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (9～10行「図7(a)のようなコイルに電流が流れると、右ねじの向きに磁束が生じる」とあるが図7(a)の磁束は磁極Nによる磁束に見えるため理解し難い。)	3-(3)	
3	20	5	脈動電圧 v [V] [図2(b) 縦軸の表記] v [V]	生徒にとって理解し難い表現である。 (「 v 」は周速度を表す記号のため理解し難い。)	3-(3)	
			[21ページ 図4(b) 縦軸の表記] v [V]			
4	35	15 - 16	[問3] (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「直巻発電機」は学習していない。)	2-(13)	
5	59	4 - 5	絶対温度	不正確である。	3-(1)	
6	60	図6	(全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (「鉄製グリッド」について理解し難い。)	3-(3)	
7	74	表1	[外鉄形 右欄] 巻鉄心 ・継目がなく損失が少ない。 ・同容量の機器に比べ軽量。	不正確である。 (上図は巻鉄心ではない。)	3-(1)	
8	78	側注2	(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (理想変圧器は条件として巻線抵抗を無視しているため理解し難い。)	3-(3)	
9	83	10	簡易等価回路 [14行] 簡易等価回路	不正確である。 (簡易)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-139		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気機器	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	83	図15	I1' (・) [84ページ 図16(b)] I1' (・)	生徒にとって理解し難い表現である。 (I1' (・)は一次負荷電流を表す記号のため理解し難い。)	3-(3)	
11	83	図15	Zab(・)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ab)	3-(3)	
12	83	図15	aV2(・)	不正確である。 (a)	3-(1)	
13	84	図16(a)	E1(・)の位置	生徒にとって理解し難い図である。 (83ページ図14のE1(・)の位置に照らして理解し難い。)	3-(3)	
14	84	図16(b)	E1' (・)=E1(・)/aの位置	生徒にとって理解し難い図である。 (83ページ図15のE2(・)の位置に照らして理解し難い。)	3-(3)	
15	88	側注1	JIS C 4304:2013 [89ページ 図3] JIS C 4304:2013	不正確である。 (2013)	3-(1)	
			[90ページ 側注1] JIS C 4304:2013 [103ページ 側注5] JIS C 4304:2013			
16	90	下囲み	[右段 3行] Pn[kV・A]	不正確である。 (k)	3-(1)	
17	106	12 - 13	容量Pa=20kV・A, … 容量Pb=60kV・A	生徒にとって理解し難い表現である。 (15～16行の「分担する負荷Pa[kV・A]とPb[kV・A]」と記号「Pa」, 「Pb」が重複しているため理解し難い。)	3-(3)	
18	106	19 - 20	容量Pa=40kV・A, … 容量Pb=60kV・A	生徒にとって理解し難い表現である。 (22行「分担する負荷Pa[kV・A]とPb[kV・A]」と記号「Pa」, 「Pb」が重複しているため理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 107-139		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気機器	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	149	図21	TS1 と Ts1 TS2 と Ts2 TS3 と Ts3	表記が不統一である。	3-(4)	
20	155	18	RT	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
21	171	15	出力 P_o [W]:二次出力 P_2 [W]:二次銅損 $P_{c2}[W]=1:s:(1-s)$	不正確である。	3-(1)	
22	176	2	日本の総発電量のほとんどは、水力発電と火力発電である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本の総発電量の割合は太陽光発電が水力発電を上回っており水力発電の割合について誤解する。)	3-(3)	
23	191	図18	励磁電流 大 励磁電流 小	生徒にとって理解し難い表現である。 (25行「界磁電流」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
24	191	図18	主磁界が弱くなる	生徒にとって理解し難い表現である。 (184ページ4行「主磁束」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
25	192	1 - 2	長距離高圧送電線路 [側注1] 長距離高圧送電路	表記が不統一である。	3-(4)	
26	205	図8(a)	$E1\sin\delta$ 一定	不正確である。 (E1)	3-(1)	
27	206	11	$V=V/\sqrt{3}$	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
28	206	13	r^2	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-139		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気機器	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	232	図1(a)	③二重トルク負荷	不正確である。	3-(1)	
30	235	側注5	JIS B 0312:2005	不正確である。 (0312)	3-(1)	
31	247	図9(a)	端子T2の位置	不正確である。	3-(1)	
32	251	24	Nチャネル	生徒にとって理解し難い表現である。 (249ページ1行「nチャネル」などに照らして理解し難い。)	3-(3)	
33	251	25	整流用ダイオード	生徒にとって理解し難い表現である。 (244ページ3行「整流ダイオード」などに照らして理解し難い。)	3-(3)	
34	265	11 - 12	実際の回路では、スイッチのかわりにトランジスタやサイリスタなどの半導体バルブデバイスが使用される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「サイリスタ」は図1(a)のスイッチのかわりに逆阻止3端子サイリスタが使えるように誤解する。)	3-(3)	
35	268	側注2	moduration	不正確である。	3-(1)	
36	274	側注3	ecti-fication	不正確である。	3-(1)	
37	279		[章末問題 A 3] (全体)	生徒にとって理解し難い表現，図である。 (259ページ図1に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。